

2018
12
No.171

かやぶき古民家のミニチュア
長谷川さん夫妻の作品
(関連記事 P7)

主な内容

- P2～3 結婚応援サポーター
- P4～5 平成30年度上半期財政状況
- P6～13 まちのできごと
- P14～15 教育長賞
- P18～19 市文化祭



結婚応援サポーターに ご相談ください



今年度、市の委嘱を受け、結婚活動（婚活）の支援に理解と熱意のある市内在住の3人が結婚応援サポーターとして活躍しています。3人に結婚応援サポーターの活動や婚活事情などインタビューしました。



石澤令子さん（長倉在住）

平成21年8月から県マリッジサポーターとしても活躍中。自宅を開放し、年に数回婚活パーティーを開催している。



山崎静雄さん（下村田在住）

平成23年9月から県マリッジサポーターとしても活躍中。市でも結婚相談員として3年間活動した。



川野和彦さん（鷺子在住）

平成24年9月から県マリッジサポーターとしても活躍中。平成30年度マリッジサポーター県北地域活動協議会会長。

結婚応援サポーターになったきっかけ

石澤さん

—仕事をしている時から出会いの仲介をしていて、退職後は仲人業をやろうと思っていた。ある時、仲人さんの仕事を見る機会があり、人のためになるその仕事にさらに魅かれていたところ、県マリッジサポーターの募集があったので申し込んだ。

山崎さん

—旧大宮町時代に民生委員児童委員協議会で縁結びサポーターという結婚支援活動に携わり、県の結婚支援相談員を知った。退職を機に人の役に立ちたいという思いから県マリッジサポーターに登録をした。

川野さん

—地域や職場での身近な人たちの未婚化、晩婚化が目立つようになってきて、これをどうにかしないといけないと思うようになった。過疎化が進み人口減少が進んでいくことを食い止めたいという大きな思いがあった。ちょうど職場の先輩が定年後に県マリッジサポーターをやっていて、一緒にやらないかと誘われ、活動を始めた。

婚活事情（男性編）

川野さん

—35歳から39歳ぐらいの男性は、対象となる女性を見つけやすいが、40歳を過ぎると徐々に相手を見つ

けにくくなってくる。男性の方が結婚したいという思いが切実だが、現実には厳しいものがある。

山崎さん

—女性の生活力や地位が向上してきている中、男性が非正規での雇用も多いため、婚活をしてもお見合いまで進むことが難しく狭き門となっている。男性はお見合いまでは非常に前向きだが、お付き合いするとすると、相手を誘うとか電話で話をするなどをためらい、積極性に欠けてしまうことも多い。結婚したい気持ちはあるが行動力が伴わない。

婚活事情（女性編）

川野さん

—昨今、女性が本気で結婚を考えるのが30歳ぐらい。女性は会う前に男性のプロフィールだけで判断することも多い。ぜひ本人にお会いして欲しいと思う。

石澤さん

—女性にどんなタイプが好みなのか聞くと、具体的なイメージを持っていない場合が多い。また、お見合いをしてもその日のうちに決断をする人が多く、なかなかお付き合いに進まない。

川野さん

—100%完全だと思える相手は難しいので、まずはお付き合いから始めて欲しい。

婚活を考えている皆さんへ

川野さん

—男性には、外見内面も含めた自分の魅力を磨くように努力して欲しい。女性は、相手はこの人だと決める力を付けることが必要。

山崎さん

—親が心配しても私たちがお世話をしても、本人の結婚に対する熱意と行動力がなければ結果は出ない。婚活では何歳までに結婚して、何歳までに子どもをもうけたいという人生設計を立てて、婚活ファーストで取り組む姿勢が実を結ぶ。お見合いやパーティーの時にアドバイスするのが、「出会ったら3時間後にお互いに連絡を取る」「3日以内に会う約束をする」「3週間以内に必ずデートをする」という3つの法則。これを実践すると成功することが多い。

石澤さん

—お見合いをしたら、男性は女性を喜ばせるような力が必要だと思う。カフェでお茶を飲むのもいいが、2人で出掛けて男性が女性を感動させるような場面を見せると、お互いの気持ちが近づくのではないかな。そのためには、デートをすることが決まったら、下調べをしておくことが大切。

山崎さん

—デートはユーモアも交え楽しいデートを心がけて、話の中で女性がどんなことが好きなのか傾向をつかむこと。また、プロフィール写真から受ける印象が大きいので、きちんとした写真を撮ることも大事。写真1枚でその人の婚活の本気度が分かる。

川野さん

—女性が、「この人だ」と決める力を養うには婚活パーティーで多くの人と出会うのが一番いいと思う。自分にはどんな人が合うのか考えを固められる場になるのではないかな。婚活は楽しく結婚を諦めないこと。選ばれる人になるように自分を磨いて欲しい。

山崎さん

—私たちが支援できるのはお見合いまで。そこから先は、本人の熱意や行動力が結果の明暗を分ける。積極的に行動した人が成婚に繋がっている。結婚したいと思う人と出会ったら2人で会う機会を多く持って、お互いに距離を縮めていくこと。お誘いを待つのではなく、自ら行動を起こして欲しい。

石澤さん

—女性は、男性の良いところや尊敬できる部分を見てよく理解するよう努力すること。また自身の趣味や生活の充実も大切だが、婚活中は婚活に力を入れるよう努めて欲しい。

山崎さん

—出会いがないという方に伝えたい。休日に家に居るのでは出会いはない。積極的に同世代の人がいる場所に外出し、各種スポーツやサークルなどに参加する。外出する時には服装や身だしなみに気を付け、必ず鏡を見てから出掛けること。また、日頃から話題作りを心掛け、相手には目配り気配り思いやりを持って接することがとても大事。

日曜結婚相談会では

川野さん

—毎回1日当たり3～4人相談者が来る。相談会の認知度が上がってきたのか、女性の相談者も増えている。出会いの場は作れるので、まずは相談に来て欲しい。

山崎さん

—市の結婚応援サポーター制度を説明して、会員登録すれば出会いの場の設定ができるということを話している。登録料、紹介料、成婚料などすべて無料で行っているの、費用の面でも心配はない。

石澤さん

—紹介する人には責任を持っているし、これまでトラブルもないので安心して相談して欲しい。

日曜結婚相談会

日時：毎月第3日曜日 9時から16時（受付時間9時から15時）

場所：おおみやコミュニティセンター

相談無料。（事前予約制）男女を問わず、本人のほか家族の相談も可能です。

相談内容は秘密厳守ですので、安心してご相談ください。

平日の相談は、希望があった場合のみ日時と場所を調整して実施します。

婚活イベント開催中
詳細は、市ホームページ、
広報常陸大宮お知らせ版
をご覧ください。



■問い合わせ■ こども課 こどもグループ ☎52-1111(内線137)

平成30年度上半期の

財政状況をお知らせします

概要

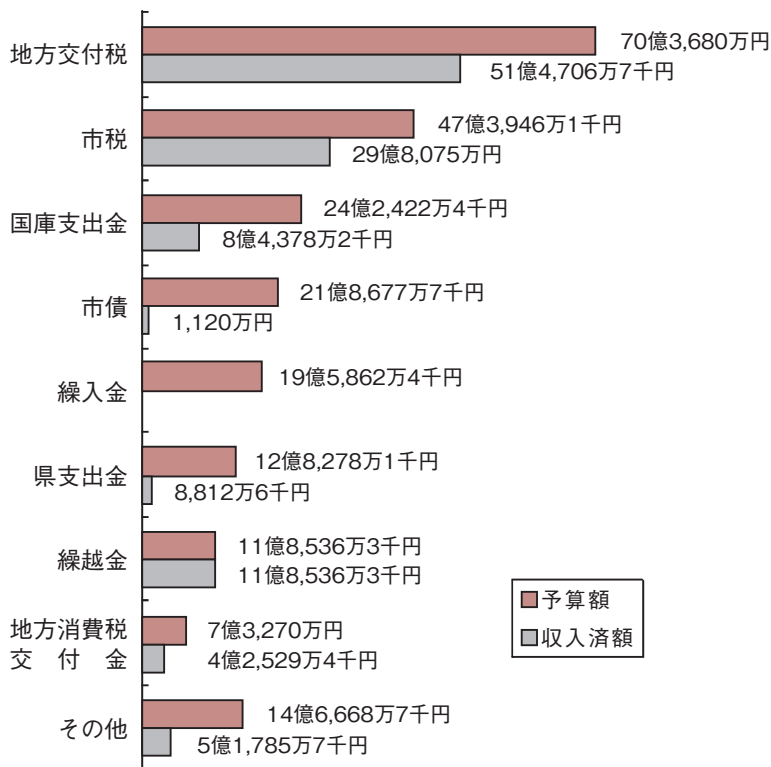
平成30年度の当初予算は、一般会計が219億1,000万円、特別会計が119億9,630万円、企業会計（上水道事業）の収益的収支の収入で13億4,535万2千円、支出で12億7,400万円、資本的収支の収入で3億6,824万6千円、支出で7億9,900万円でした。それに、前年度からの繰り越し及び政策的経費などの補正を加えた予算額は、平成30年9月30日現在で、それぞれ一般会計が230億1,341万7千円、特別会計が123億613万6千円、企業会計の収益的収支の収入で13億4,535万2千円、支出で12億8,596万7千円、資本的収支の収入で4億1,404万6千円、支出で9億3,755万2千円になっています。

歳入

予算額 230億1,341万7千円

収入済額 111億9,943万9千円（収入率48.7%）

（※上記の予算額、収入済額及び支出済額は、平成30年9月30日現在のものです。）



市債の状況

区分	現在高	実負担割合
一般会計	(51億3,884万円) 240億1,325万円	21.4%
国保診療施設勘定	(2,781万円) 9,269万円	30.0%
公共下水道事業	(18億2,386万円) 30億9,129万円	59.0%
公営墓地	(2億1,690万円) 2億1,690万円	100.0%
農業集落排水事業	(14億4,326万円) 28億4,107万円	50.8%
戸別浄化槽整備事業	(3,490万円) 1億1,671万円	29.9%
温泉事業	(8,041万円) 2億6,803万円	30.0%
上水道事業	(27億8,530万円) 35億8,930万円	77.6%
合計	(115億5,128万円) 342億2,924万円	33.7%

※現在高の上段（ ）内の金額は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補填される市債があり、それらの市債の残高から補填される金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

一般会計予算における一人当たりの額

543,115円



民生費
164,851円



公債費
70,097円



総務費
62,386円



教育費
59,400円



土木費
50,641円



衛生費
47,699円



消防費
29,620円



農林水産業費
28,381円



その他
30,040円

市税総額における

一人当たりの額

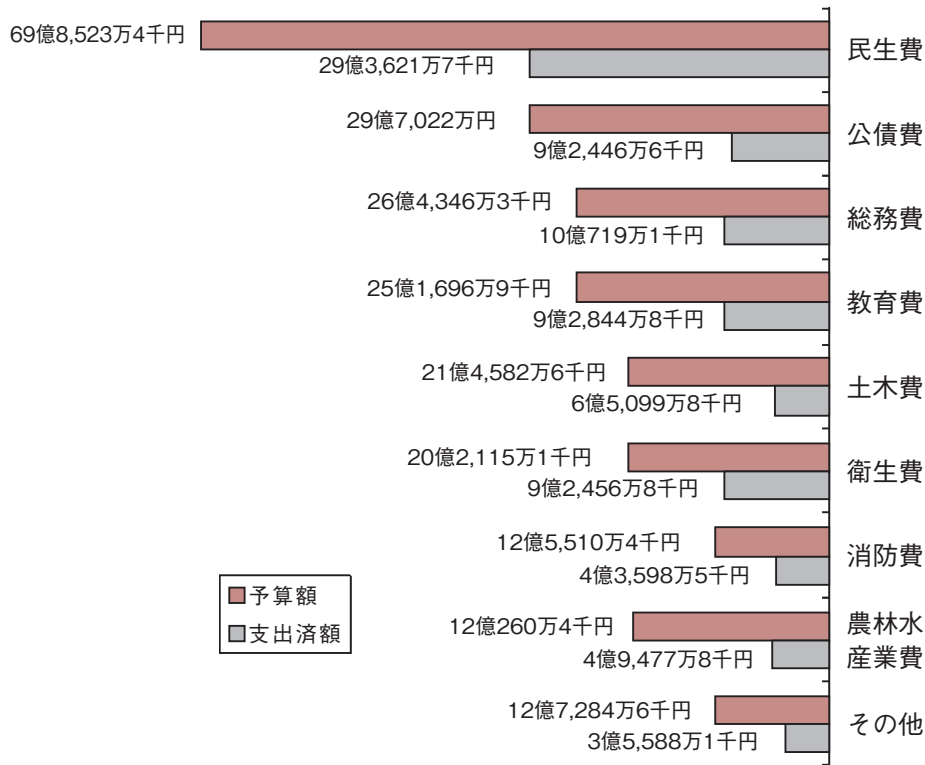
111,851円

*上記の金額は、平成30年9月30日現在の住民基本台帳人口42,373人で算出しています。

歳出 予算額 230億1,341万7千円
支出済額 86億5,853万2千円（執行率37.6%）

平成29年度から繰越されたものを含めています。）

問い合わせ
財政課 財政グループ
☎52 - 1111（内線376）



主な財産の現在高



公共施設敷地
4,762,355.09㎡



宅地
7,877.66㎡



山林、原野等
6,445,288.59㎡



建物
282,112.81㎡



基金及び出資金
143億1,227万7千円



車
205台

上水道事業会計の状況（地方公営企業法第40条の2第1項の規定に基づく公表）

業務状況

給水人口	39,938人
給水件数	17,545件
有収水量	2,271,834㎡/9月末
一日最大配水量	23,252㎡
一日平均配水量	19,622㎡
有収率	63.27%

予算の収支状況

区分		予算額	収支額	収支率
収益	収入	13億4,535万2千円	6億154万8千円	44.7%
	支出	12億8,596万7千円	2億3,075万6千円	17.9%
資本	収入	4億1,404万6千円	1億2,425万5千円	30.0%
	支出	9億3,755万2千円	2億7,341万7千円	29.2%

資本的支出額9億3,755万2千円に対して資本的収入額の不足額5億2,350万6千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填する予定です。

特別会計の収支状況

区分		予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険 特別会計	事業勘定	49億4,663万1千円	23億8,509万7千円	17億2,767万8千円
	診療施設勘定	1億8,500万円	1億477万3千円	7,219万7千円
公共下水道事業特別会計		8億7,942万3千円	2億6,696万2千円	3億1,820万5千円
公営墓地特別会計		2,470万円	8,530万4千円	236万4千円
農業集落排水事業特別会計		5億7,478万3千円	2億8,580万7千円	2億2,077万3千円
介護保険特別会計		50億6,875万4千円	23億8,200万円	19億9,784万4千円
宅地造成事業特別会計		810万円	497万1千円	8万円
戸別浄化槽整備事業特別会計		5,240万円	2,267万4千円	1,913万円
温泉事業特別会計		8,074万5千円	6,886万円	3,084万8千円
後期高齢者医療特別会計		4億8,500万円	1億5,922万5千円	1億1,989万4千円
那珂地方公平委員会特別会計		60万円	85万9千円	3万1千円

10/17

県民球団 茨城アストロプラネッツ

株式会社茨城県民球団茨城アストロプラネッツの山根将大代表取締役と長峰昌司ゼネラルマネージャーが、独立リーグ「ルートインBCリーグ」への参入を報告するため市長を表敬訪問しました。ルートインBCリーグとは、2007年に開幕した北信越・北関東から東北・近畿にまでの10チームが所属するプロリーグです。今後、茨城アストロプラネッツの試合を市民球場で行うことなどが期待され、身近でプロの活躍を見られそうです。



▲頑張ってください！

10/25

文部科学大臣から表彰

上久保医院の上久保一夫先生が、文部科学大臣から表彰されました。上久保先生は、旧玉川小学校、旧塩田小学校、そして大宮北小学校の学校医を長きにわたり務められたことから、その功績が認められたものです。



▲おめでとうございます

10/29・30

市内企業が花器とテントを寄贈

市内に本社がある2企業と常陽銀行が小瀬高校と大宮西小学校で寄贈式を行いました。

タビーコーポレーション株式会社（代表取締役齊藤博幸社長）は、小瀬高校卒業生が多数在籍し活躍されている縁から小瀬高校に花いけバトルで使用する花器を寄贈。この花器を制作したのは、常陸大宮大使の陶芸家菊地弘さんと、土の表現の広がりを感じるデザインになっています。小瀬高校の玄関口に飾ってありますので、訪問の際はぜひご覧ください。

大宮西小学校には、株式会社三和建材（代表取締役戸倉明彦社長）がテントを1張寄贈しました。



▲左から小瀬高校生、菊地弘さん、山崎修支店長
齊藤博幸・千加子夫妻、常井安文校長

本社近隣に所在する大宮西小学校の教育環境をサポートすることで、将来活躍できる人材が育って欲しいとの思いから今回の寄贈となりました。寄贈されたテントは運動会等の各種イベントなどで利用されます。

これらの寄贈は、株式会社常陽銀行の寄贈サービス付私募債「未来の夢応援債」を利用したものです。

寄贈サービス付私募債とは

企業が銀行保証付私募債を発行する際、銀行が受け取る手数料の一部で図書やスポーツ用品等を購入し、企業が指定する学校等に寄贈する社会貢献型金融商品のこと。



▲左から川又寛実校長、戸倉明彦社長、山崎修支店長

11/9

常陸大宮ライオンズクラブ から車両寄贈

スポーツをとおしての青少年健全育成を目的として常陸大宮ライオンズクラブ（黒澤明雄会長）から、車両が1台寄贈されました。寄贈された車両は、ダイハツハイゼット。車両の両面には、市内で盛んな6種のスポーツ（野球・バレーボール・マラソン・ゴルフ・サッカー・ヨガ）が描かれています。11日に道の駅常陸大宮～かわプラザ～で開催されたみんなのスポーツフェスティバルで市民の皆さんにお披露目されました。



▲三次市長へ鍵を手渡す黒澤会長

11/13

県功労者表彰

県勢の発展に著しい功績があった方々を称える茨城県表彰式が茨城県庁で開催され、本市からは、個人2人と1団体が表彰されました。

個人で表彰された、ピジョン株式会社代表取締役会長の大越昭夫さんは、赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーンをとおして、森林の保全活動や都市農村交流の活性化に貢献されました。木村勉さんは、環境美化活動や地球温暖化防止活動に尽力されました。また、団体が表彰された特定非営利活動法人あきない組は、イベント事業等をとおして商店街の活性化を図り、青少年健全育成や地域振興に取り組んだことが評価されました。



▲左から大越さん、木村さん、あきない組の富田さん、萩谷さん

11/30

農林水産大臣賞を受賞

JA常陸大宮地区枝物部会（石川幸太郎部会長）を対象とした取り組みが、農業普及活動高度化全国研究大会で農林水産大臣賞を受賞しました。これは、「ゼロからのスタートから中山間地で取り組む多品目枝物産地づくり～」と題し、県北農林事務所常陸大宮地域農業改良普及センターの玉川美里さんが発表し評価されたものです。花桃を主力とした枝物の産地づくりと耕作放棄地が26ヘクタール解消されたことを報告しました。



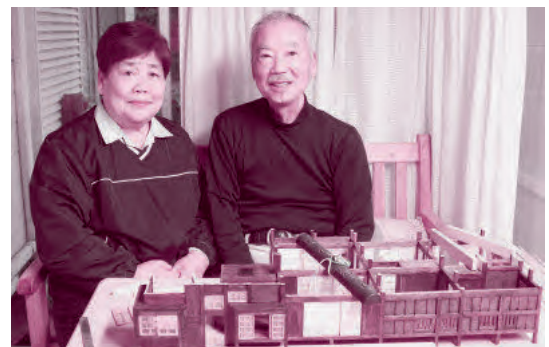
▲(左) 玉川さん (右) 石川さん

かやぶき古民家の ミニチュアを制作

山方地域在住の長谷川武士さんと春子さん夫妻は、2006年から実物の3分の1の大きさの「かやぶき古民家」の制作に取り組まれています。

9/11から11/4まで、常陽史料館（水戸市）でかやぶき古民家のジオラマ展を開催されました。

正確な間取りのほか、庭先には、竹ぼうきや干し柿、大根などの生活感のあるものまでも忠実に再現。今では目にすることが珍しくなったかやぶき古民家は、人々の郷愁を誘っていました。



▲長谷川夫妻と制作中のかやぶき古民家のミニチュア

10/20・21

市内文化財の特別公開「集中曝涼」しゅうちゅうばくりょう

文化財集中曝涼が実施されました。これは、ふだん見ることのできない市内の文化財を公開するもので、昨年の国長の阿弥陀院、鷺子の善徳寺、大宮の甲神社等、高部の岡山家の庭園「養浩園と三階建ての楼閣「喜雨亭」に加え、今年は小田野の三浦神社が初登場。

三浦神社は、現在のたたずまいこそ、ひっそりとした小さな神社ですが、かつては永福寺という大きなお寺があった場所であり、その寺宝が今も神社に受け継がれています。



▲甲神社で文化財に見入っています

また、「森と地域の調和を考える会」と「茨城城郭研究会」の全面協力で、地域の小田野城と高部館を散策するツアーも実施。多くの参加者が集まり、予想外の急斜面に苦労しながらも、400年のときを経て尚今も山中に残る城跡に驚きの声があがっていました。

天気にも恵まれ、全体で延べ約1000人を超える来場者がありました。本市には、まだまだ知られていないお宝が眠っています。



▲小田野城で堀を見下ろしました

11/12

木製テーブルとベンチが寄贈されました

株式会社筑波銀行から、木製のテーブルとベンチが寄贈されました。寄贈された品は、常陸大宮高校機械科の生徒が制作したもので、寄贈式に先立ち、おがわふれあいの森の新ハイキングコース入り口に

設置されました。6人掛けのゆったりしたベンチで休憩したり、テーブルでお弁当を食べてみてはいかがでしょうか。気象条件が合えば、富士山も望めるハイキングコースの休憩所としてぜひご活用ください。



▲製作したベンチとテーブル



▲常陸大宮高校生と㈱筑波銀行から目録が手渡されました

10/21

常陸大宮市子ども会幹部研修会

市子ども会幹部研修会がやすらぎの里公園で開催されました。市内の各子ども会の幹部候補の小学生48人、茨城大学子どもふれあい隊、子ども会育成連絡協議会の役員・理事を組み合わせ、8班に分かれ活動しました。

午前はウォークラリーを実施。初めて顔を合わせ、他の地域の仲間たちとも、クイズや指令を協力しながら乗り越え、徐々に打ち解けることができました。昼食はバーベキューを行い、会話をしながら自主的に食材を焼いて、片づけまで協力してしっかり

行うことができていました。参加者からは、「みんなで食べるのはおいしい」、「焼きマシュマロがおいしかった」などの声が聞かれました。

午後はペーパータワー作りを実施。A4用紙を使い、どれだけ丈夫で高いタワーができるか、各班で作戦を立てて競いました。児童たちはこの研修会を通して、仲間と協力する大切さ、目標に向かい意見を出し合うコミュニケーション能力、課題に積極的に取り組む姿勢が大きく育まれました。これからの子ども会のリーダーとして頼れる存在になりそうです。



▲バーベキューおいしかったね



▲倒れないかドキドキ

10/12・19・24

前期市民大学講座

前期市民大学講座がおおみやコミュニティセンターで開催されました。テーマは「気候変動影響と持続可能な対応策」。茨城大学理学部准教授の若月泰孝先生と同大学地球変動適応科学研究機関副機関長／准教授の田村誠先生をお迎えし、温室効果ガスの増加による世界平均気温の変化予測と気候の変動や、温室効果ガス削減のための国際的な取り組みなどについて、最先端の話題や研究について講義が行われました。受講者からは、100年後の気候の変動について意識するようになったとの意見や、これまでとは違う視点で気候変動を見ることができるようになったとの感想がありました。



▲熱心に聴講していました

10/31

常陸大宮高校生と 保育園児が交流

常陸大宮高校で生徒と聖慈保育園3歳以上の園児が交流しました。これは、普通科の「子どもの発達と保育」という科目で行われた授業で、生徒が将来子育てに関わる立場になることから、教科書だけでは学べないことを園児との交流で学ぶためのもの。参加した生徒は、「将来子どもが生まれた時のための予行練習にもなる。園児たちと触れ合うのは楽しい。」と話していました。



▲ハロウィンの仮装をした園児たち

10/25

緑のカーテンコンテスト

市環境市民会議では、市民の皆さんが夏の間に育てた緑のカーテンを募集し、コンテストを実施しました。「緑のカーテン」とは、建物の側面にネットを張り、アサガオやゴーヤなどつる性の植物を栽培して、直射日光をさえぎり、日陰を作ることです。

また、葉の水分が蒸発することで建物内の温度上昇を抑え、エアコン等の使用を減らし節電対策になる環境にやさしい取組みのひとつです。今年度は、一般部門7点の中から3点が入賞し、市内小・中学校5校、3つの公共施設も参加しました。

市環境市民会議では、地球温暖化対策として「緑のカーテン」づくりを推進しています。来年の夏は家庭や職場で「緑のカーテン」を作ってみませんか。

緑のカーテンコンテスト入賞

山崎 正子さん（下村田）

島田 寿子さん（下村田）

特定非営利活動法人

学童保育園 子コロっコロ（小場）

市内参加小・中学校

上野小学校 ・大宮西小学校 ・山方南小学校

美和小学校 ・大宮中学校

市内参加公共施設

社会福祉協議会美和支所 ・大賀保育所

市総合保健福祉センター「かがやき」



▲山崎正子さん



▲島田寿子さん



◀特定非営利活動法人
学童保育園
子コロっコロ

11/4

漆の魅力に触れる

山方地域特産品の奥久慈漆の魅力に触れてもらおうと、漆塗り体験教室（主催：山方支所）を7月から11月にかけて、5回にわたり開催しました。山方漆ソサエティーの皆さんと本間健司先生を講師に、市内在住の15人が小皿と箸の漆塗りを体験。小皿には漆工芸技法の一つである「螺鈿（らでん）」を施しました。螺鈿とは、あわびや白蝶貝などの虹色に輝く部分を切り出して漆器に装飾するもの。本来漆器は、長い期間をかけて仕上げますが、講師の皆さんの創意工夫により、短期間で実現できました。参加者は出来栄に大満足の様子でした。



▲作品と一緒に記念撮影

11/9

市小中学校音楽会

文化センターロゼホールで、市内の小中学校16校が参加し音楽会が開催されました。開会式後、学校単位で合唱や吹奏楽の演奏が披露されました。児童、生徒の皆さんは、一生懸命練習した成果をステージの上で発揮し、観客席からは大きな拍手が贈られていました。閉会式では、市の歌「君とこのふるさとで」を全員で歌いました。



▲御前山中学校の皆さん

11/10

コミュニティ助成事業

小田野区では、地元で保有している山車が老朽化し、ふれあい祭りや三浦神社祭礼など地域活動で使用できない状態でしたが、区民の一体感を醸成し、地域を活性化させることを目的に、今年度のコミュニティ助成事業を活用し、老朽化していた山車の整備を行いました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために助成しているものです。

今後、整備した山車を活用することにより、住民同士の交流の場の復活や郷土意識の醸成、伝統文化の後継者育成など、地域活動の更なる活性化が期待されます。



▲荘厳な山車が復活しました

11/11

スポーツフェスティバル

道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜で、みんなのスポーツフェスティバルが開催され、ステージでは常陸太田市出身の作曲家マシコタツロウさんの司会で、ニュースポーツの紹介や新体操の発表が行われました。また、イベント広場の芝生では、スラックラインやスポーツチャンバラ、ストラックアウトなど子ども大人も楽しめる体験講座が開催され、たくさんの親子連れが笑顔で楽しんでいました。



▲新体操クラブの発表も行われました

10月・11月

教育行政点検・評価

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行っています。

評価委員として、茨城大学人文社会科学部教授西野由希子氏、元県職員新家洋一氏・武藤賢治氏の3人に委嘱し、平成29年度の活動状況及び実施した事務事業のうち8事業について、点検・評価を実施し

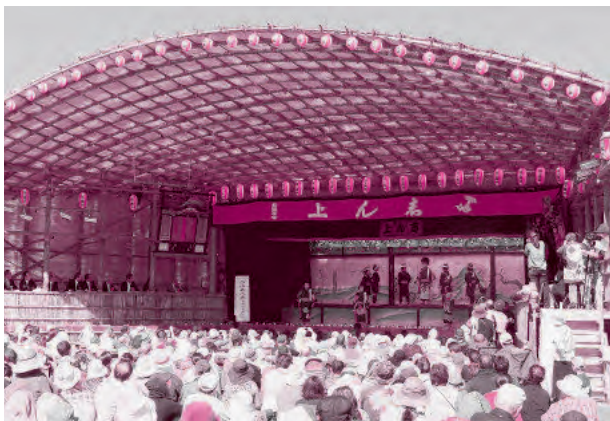
ました。

その結果、教育委員会会議の開催状況、協議、報告等は適正に執行されているとの意見が出されました。

点検評価対象の8事業については、「拡充」3事業、「現行どおり」5事業と評価されました。

「拡充」と評価された事業のうち、「歴史文化振興事業」では、身近な伝統文化の保全と伝承は喫緊の課題であり、「郷育立市」を掲げる市として積極的に取り組むべきであるとの意見が出されました。また、「歴史民俗資料館整備事業」では、本市の貴重な文化財・資料を収集、調査研究し、保存、展示、教育普及活動を行う施設の整備は、非常に重要であり、事業は拡充し、適切に進めていただきたいとの意見が出されました。その他の意見等については、市ホームページをご覧ください。

市教育委員会では、毎年教育行政点検評価を実施し、教育委員会活動の透明性を高め、市民の皆さんから信頼される教育行政を推進していきます。



▲西塩子の回り舞台

11/1

長倉城跡遊歩道

長倉地区にある市指定文化財の史跡「長倉城跡」までの遊歩道（380m）に、木質チップを敷き詰めた歩きやすい遊歩道が完成しました。

木の香りと森林浴を満喫できる自然豊かな遊歩道ですので、ぜひ一度散策してみたいはいかがでしょうか。



▲ふわふわで歩きやすくなった遊歩道

11/12~16

マイナンバーカード

市では、「マイナンバーカード取得促進キャンペーン」を実施し93人の方が申請・相談に来られました。期間中は、申請用顔写真の無料撮影を行い、好評をいただきました。マイナンバーカードは、ご自身の氏名、住所などを証明するものとして提示することができ、コンビニで住民票等を取得する場合にも使用できます。今後も申請の相談・説明等を引き続き実施しますので、お気軽にご相談ください。



▲丁寧にご説明します

11/12

いちご生産者現地研修会

県のいちご経営研究会に所属するいちご生産者の中で「いばらキッス」を生産する約70人が参加し、御前山地域にあるつづく農園とおひさまのいちご園で現地研修会を行いました。2つの農園とも定植前に、高濃度炭酸ガス処理装置で苗に付着したハダニを駆除し、減農薬での栽培に取り組んでいます。参加した人からは、「苗が枯れている部分がなく、とても良い状態で驚いた。いちご栽培の課題がハダニの処理なので、炭酸ガスに興味がある。」と話していました。



▲つづく農園の都竹大輔さん



▲おひさまのいちご園の菅野大志さん

11/24

電子工作教室

図書館情報館で、ひたまる先生の野上文夫さんと金澤功寿さんを講師に迎え、電子工作教室が開催されました。制作したのは、電子コオロギ。これは電子回路を繋いでコオロギに似た音を出すもの。参加した小学1年生から3年生までの親子が一緒に制作に取り組んでいました。小学生たちは完成した電子コオロギを何度も鳴かせ、仕上がりに満足そうでした。



▲野上先生と金澤先生の指導のもと楽しい作品を作りました



▲完成した電子コオロギ

11/11

お宝発見

市のお宝発見事業の第4回を、22人の参加のもと実施しました。今回は美和地域で、伐採作業現場の見学、丸太切りの体験をしました。そのほか、温泉施設等で使用される木材チップを製造するチップ工場の見学を行いました。この体験をとおして、林業についての理解を深めました。

その後、鷲子山上神社で神社関係者の方の説明を聞き、神社の成り立ちについて学びました。説明を受けた後は、神社内の見学を行いました。神社独特の神聖な雰囲気を味わいながら、神社内に複数存在するふくろうの像をなでるなど、楽しく見学をしました。参加者たちは、グループの仲間やボランティア

アの茨城大学生と協力し、楽しく真剣に活動に取り組むことができました。

ボランティアの声



茨城大学1年
子どもふれあい隊
河井 孝太

計6回ある活動も半分が終わり、第4回を迎えました。丸太を切る姿や願いごとをする姿。いずれも一生懸命で、真剣に取り組む子どもたちの姿を見ることができました。これからの人生で子どもたちが、多くの夢中になれるものに出会えることを願っています。



▲丸太切り大変だったかな？



▲たくさんのふくろうがいたね

11/17

郷土を語る！常陸大宮市史講演会

市文化センターで、「郷土を語る！常陸大宮市史講演会—民衆運動と地域の記憶—」が開催されました。これは、市史編さん事業で調査をしている地域の歴史や文化に焦点を当てたもので、市史編さん委員会近現代史部会の飯塚彬さんによって、「小瀬一揆と本橋次左衛門」と題した講演が行われました。

講演のテーマとなった「小瀬一揆」は、明治9年に本橋次左衛門(小舟)らが中心となり、明治新政府が進める税制に反対した一揆として伝えられています。

講演では、地租改正や米価の急落を背景に一揆が起こるまでの過程と、本橋らが地域で「義民」として顕彰される過程についてお話をいただくと同時に、江戸時代の年貢制度と絡めて一揆を論じる必要があるという、新たな展望が提示されました。

講演には、市内外から150人を超える来場者が集まり、大きな関心を集めました。今後も、地域に伝わる歴史や文化を引き続き皆さんへ公表していく予定です。



▲講演をする飯塚彬さん



▲多くの方が講演に耳を傾けていました

教育長賞

市内で優秀な成績を収めた生徒に上久保教育長より市教育長賞が授与されました。



▲山方中学校 3年 坂井亮太さん
少年の主張茨城県大会で茨城県教育委員会教育長賞を受賞



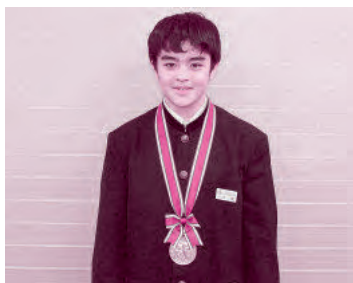
▲山方中学校 1年 菊池恋々菜さん
第29回大好きいばらき作文コンクールで日立財団小平記念賞を受賞



▲山方中学校 1年 岡崎祐花さん
介護の日作文コンクールで茨城県老人福祉施設協議会長を受賞



▲大宮中学校 1年 木村拓斗さん
県中学校新人陸上競技大会共通男子1500m
(記録：4分30秒16) で第5位



▲第二中学校 2年 石井權さん
県中学校新人体育大会剣道男子個人戦で第5位



▲大宮中学校女子卓球部
県中学校新人体育大会卓球の部女子団体戦で第3位

茨城県幡谷教育振興基金 贈呈



▲大宮中学校男子卓球部
県中学校新人体育大会卓球の部男子団体戦で第7位



▲理科教育に顕著な実績を収めた県内6校の小中学校が「茨城県幡谷教育振興基金」贈呈式に臨み、本市からは緒川小学校が優秀校として表彰され、賞賜金100万が贈られました

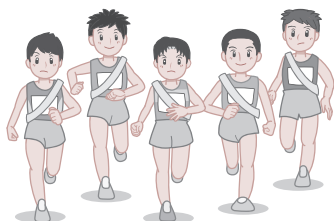
快挙！大宮中学校駅伝部 関東大会出場

県民総合体育大会中学校大会（男子第54回茨城県中学校駅伝競技大会）が11月9日（金）にひたちなか市総合運動公園内及び周辺コースで行われ、中央地区代表の大宮中学校駅伝部が第4位（記録1時間01分00秒）の快挙を成し遂げ、埼玉県で行われる関東大会（12月1～2日）に出場することを市長に報告しました。

また、上久保教育長から教育長賞が授与されました。



▲関東大会に向けて意気込みを伝えました



先生に教育長賞

市教育研究集会で、市内小中学校教諭の研究発表があり、2人の先生方に教育長賞が贈られました。



▲左から後藤先生、高島先生

（敬称略）

受賞者	分科会名	研究内容
高島みどり （大宮小学校）	算数・数学	主体的に学び共に高め合うことができる児童の育成～第4学年算数科「わり算の筆算」におけるユニバーサルデザインの視点を生かした学習支援を通して～
後藤 栄子 （御前山中学校）	キャリア教育	生徒の自己有用感を育むためのキャリア教育の在り方～教育活動全体における指導と外部との連携を通して～

スポーツ大会結果

硬式野球の常陸大宮リーグメジャーチーム（5、6年生で結成）が、インターミディエット秋季大会にワイルドカードで出場し、準優勝の成績を収めました。

インターミディエット秋季大会

優勝	松戸・柏リーグ
準優勝	常陸大宮リーグ
第3位	常陸太田リーグ



▲おめでとうございます！

硬式野球の常陸大宮リーグマイナーチーム（3、4年生で結成）が、第42回産経新聞社旗争奪大会に出場し、準優勝の成績を収めました。

第42回産経新聞社旗争奪大会結果

優勝	常陸太田リーグ
準優勝	常陸大宮リーグ



▲頑張ったね！

スポーツ大会結果

第28回秋季ソフトボール大会

開催日：平成30年9月23日(日)・10月14日(日)
主催：市ソフトボール連盟(神永哲男会長)
会場：西部総合公園多目的グラウンド
ほか3会場
参加チーム：26チーム

優勝	中富ソニック
準優勝	若林桜台インパルス
第3位	抽ヶ台アウトサイダーズ 小舟スポーツクラブ
最優秀選手賞	駒田 達也選手(中富ソニック)
優秀投手賞	井坂 智典選手(中富ソニック)
敢闘賞	皆川 忠巳選手(若林桜台インパルス)



▲優勝した中富ソニックの皆さん

第23回ミックスバレーボール大会

開催日：平成30年11月4日(日)
主催：市バレーボール連盟(相田仁史会長)
会場：西部総合公園体育館
参加チーム：7チーム

優勝	ステップ
準優勝	ウイングス
第3位	SOYA・プライド



▲優勝したステップの皆さん

常陸大宮市ミックスダブルステニス大会

開催日：平成30年10月21日(日)
主催：市テニス連盟(片野良平会長)
会場：西部総合公園テニスコート

優勝	松田 容幸・小林 さゆりペア
準優勝	石井 進・金澤 節子ペア
第3位	荒井 稔・小室 雪絵ペア



▲おめでとうございます

第14回常陸大宮市近郊軟式野球大会

開催日：平成30年10月28日(日)・11月4日(日)
主催：市軟式野球連盟(菊池清一会長)
会場：大宮運動公園市民球場
山方運動公園野球場
参加チーム：10チーム

優勝	エラース(城里町)
準優勝	三菱原子燃料(株)(東海村)
最優秀選手賞	君嶋 錬選手(エラース)
優秀選手賞	君嶋 幸季選手(エラース)
敢闘賞	宮崎 将伍選手(三菱原子燃料)

第38回常陸大宮市近郊中学校サッカー大会

開催日：平成30年11月10日(土)・11日(日)
主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会場：西部総合公園多目的グラウンド
ほか2会場
参加チーム：18チーム

優勝	水戸市立見川中学校
準優勝	東海村立東海南中学校
第3位	常陸大宮市立大宮中学校
敢闘賞	東海村立東海中学校

第6回常陸大宮市スナッグゴルフ大会

10月21日、第6回常陸大宮市スナッグゴルフ大会（主催：市教育委員会、協賛：常陸大宮ライオンズクラブ）を静ヒルズカントリークラブで開催しました。競技は低学年の部、高学年の部、一般の部の3つの部門に分かれて行われ、絶好のプレー日和の中、参加者はそれぞれの部で腕前を競いあい、白熱したプレーを披露しました。

《大会結果》

低学年の部 5 ホール

優 勝	小室 ^{たくや} 拓也さん	17ストローク
準優勝	佐川 ^{ゆきなり} 行生さん	19ストローク
第3位	川村 ^{おお} 嶺旺さん	19ストローク

同スコアの場合は年齢が低い方が上位

高学年の部 8 ホール

優 勝	佐久間 ^{たかひろ} 貴大さん	24ストローク
準優勝	宮田 ^{ゆきほ} 有希歩さん	26ストローク
第3位	齊藤 さくらさん	27ストローク

同スコアの場合は年齢が低い方が上位

一般の部 8 ホール

優 勝	佐久間 ^{たかのり} 貴徳さん	22ストローク
準優勝	大津 ^{まさゆき} 雅之さん	23ストローク
第3位	大森 ^{すぐる} 優さん	23ストローク

同スコアの場合は年齢が高い方が上位

個人賞

ホールインワン賞	佐久間 ^{とうこ} 瞳子さん（一般の部）
アルバトロス賞	大津 雅之さん（一般の部）



▲左から川村さん、小室さん、佐川さん



▲左から齊藤さん、佐久間さん、宮田さん



▲左から大森さん、佐久間さん、大津さん

11月に行われた市内イベント

- 3日(土) ふるさと祭りおおみやふれあい広場
- 4日(日) 関東嵐山御前山トレイルラン
- 11日(日) ごぜんやままつり
- 18日(日) やまがた宿芋煮会
- 23日(金) 道の駅みわ北斗星新そばまつり
- 24日(土) 那珂川カヌーフェスティバル2018
- 24日(土)・25日(日)
常陸秋そばフェアin道の駅常陸大宮
～かわプラザ～ オープニングイベント
- 25日(日) 駅前イルミネーション点灯式





みんなのスポーツ・エクササイズ⑧



運動が苦手な方にこそ参加してほしいスクエアステップ

スクエアステップは、筑波大学の先生が考案した「幅1m、長さ2.5mのマットに描かれた40個のマスを縦・横・斜めに移動する運動」です。指揮者が出す指示どおりにマスを選択してステップを踏むのは難しくも楽しくて、自分でやっても他者がやるのを見ても、笑いがこみ上げてくる不思議な楽しさがあります。

また、この運動をすることで、転倒予防や認知症予防の効果があることが科学的に証明されています。

文化スポーツ課では、今年3月にスクエアステップ体験教室を開催し、皆さん笑顔で大変好評でした。今年度も以下の日程でスクエアステップ体験教室を開催します。1月のお知らせ版で参加者を募集しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

日 時：2月15日・22日、3月1日・8日・15日・22日
(毎週水曜)

時 間：13:30～15:30

場 所：市総合保健福祉センター「かがやき」

対象者：どなたでも

参加費：1,000円（初回に徴収。保険料込み）



■問い合わせ■ 文化スポーツ課 文化スポーツグループ ☎52-1111（内線342）

10/21～

各地域で市文化祭が開催されました

芸術文化の振興・発展と各種団体の交流を図るため「平成30年度常陸大宮市文化祭」が行われました。10月21日の囲碁大会を皮切りに、各地域で作品展示や発表会等を開催。文化協会会員をはじめ学校や一般の方も参加し、日頃の練習の成果を披露しました。

第14回 囲碁大会

開催日：10月21日 参加者：28人

優 勝	高安 勝美さん（笠間市）
準優勝	軍司 武さん（根本）
第3位	大越 充さん（野中町）



第14回 将棋大会

開催日：11月4日 参加者：30人（うち小学生4人）

【1組】優 勝	菊池 達也さん（若林）
【1組】準優勝	松山 雅人さん（那珂市）
【2組】優 勝	鈴木 晴勝さん（下村田）
【2組】準優勝	西野 欽也さん（抽ヶ台町）
【3組】優 勝	和田 将史さん（抽ヶ台町）
【3組】準優勝	桜井 繁さん（富岡）



文化祭の様子

第14回ダンス発表会(10/28)



第14回音楽祭(11/25)



茶会(11/24・25)



第6回芸能発表会(11/24)



大宮地域美術展・華道展(11/23~25)



山方地域作品展・発表会(10/26~28)



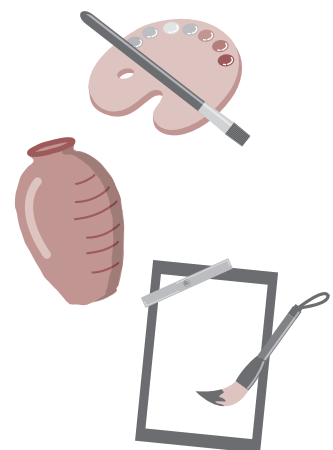
美和地域作品展(11/3・4)



緒川地域作品展・発表会(11/3・4)



御前山地域作品展(11/10・11)



いきいき茨城ゆめ国体2019



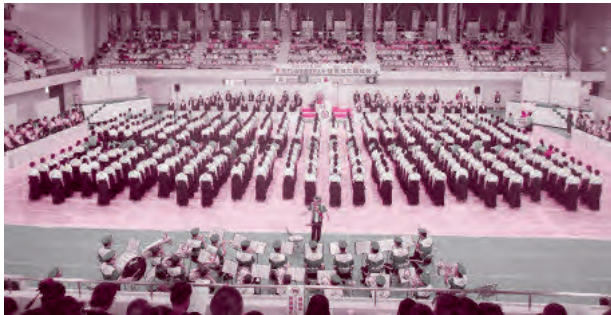
第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

○福井国体なぎなた競技会視察

福井県鯖江市総合体育館で、明治150年記念第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体2018）なぎなた競技会が行われました。会場にはたくさんの観客がかけつけ盛り上がりを見せました。屋外では、抹茶のおもてなしや売店などが出店されました。

いよいよ茨城国体まで1年を切りました。市民一丸となって大会を盛り上げましょう。



▲開会式の様子

○中学校なぎなた出前講座

茨城国体に向けて、なぎなた競技を知ってもらうために、市内の中学校に出向き、なぎなたの授業を実施しました。県立水戸第二高等学校のなぎなた部の皆さんに協力をいただき、曲に合わせてなぎなたを振る「リズムなぎなた」を行いました。中学生は、高校生と協力しながら、一生懸命取り組んでいました。



▲動き方に戸惑いながらも一生懸命取り組みました

いばラッキーがゆく～国体PR作戦～

10/20



大宮聖慈保育園の運動会で、子どもたちと一緒に茨城国体ダンスを踊りました。

11/11



ごぜんやままつりで、オープニングセレモニーに参加し国体をPRしました。

10/21



パラオフェアで、茨城国体クイズを行い正解者には、いばラッキーグッズを贈呈しました。

11/11



みんなのスポーツフェスティバルに参加し、国体PRブースでは、オリジナルのグッズを配布しました。

11/3



ふれあい広場のステージで、県広報ボランティアが国体ダンスを披露しました。国体PRブースでは、缶バッチ作り体験コーナーに多くの子どもたちが訪れてくれました。

11/18



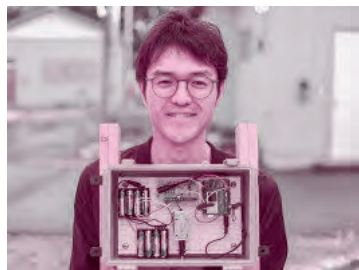
やまがた宿芋煮会で、たくさんのゆるキャラや来場された方たちと触れ合いました。

地域おこし協力隊

がゆく



▲樹皮をむいた杉の木



▲IoTを利用した箱わな用装置(自作)

地域活性化担当の松原功(こう)です。前回話をしました「人々の交流が生まれる森林」を考えるために、今年の夏は多くの時間を森林で過ごしました。その森林では「杉の皮をむく」ということを試してみました。「皮むき間伐」と呼ばれる手法です。最近は新聞で見かけることや県内で実践している方がいるので、ご存知の方もいらっしゃると思います。夏場、杉や檜の樹皮は簡単にむくことができます。樹皮をはぎ、ゆっくり枯らすことで、程よく乾燥された丸太にできます。この丸太は生木の丸太より非常に軽いです。間伐なので林業的側面で見るとあまり効率の良い作業ではありませんが、森林を利用したアクティビティとして捉えると新しい見方ができると思っています。多様な側面から森林の活用方法を試していき、人々の交流を生み出していけるような仕組みを作っていきます。

また、森林に入ると、猪の足跡や獣道をよく見かけました。これから冬にかけては「わな」を使った狩猟を活動の主軸にします。「猪を見かけた」や「猪で困っている」という話はよく耳にするので、ただ狩猟を行うだけではなく「野生生物と人間との関係性」を考えながら取り組んでいきます。

ひたまる先生を紹介します

vol.15



▲小泉むつ子さんと作品

私たちは、手編み同好会として活動しています。過去のワークショップ体験者が中心となり、世界でただ一枚のニットづくりを楽しんでいます。新情報の交換、資料や材料の提供、正しい基礎と理論の伝達と時には真剣に、時にはにぎやかに時間を過ごします。「テアミ」古くて新しい響きですがなかなか奥が深いのです。間違えたら、ほどこけば良いのです。「私にもできますか?」「もちろんです。やる気と本気があれば!」

編み物大好きの輪を一目一目編みつないでみませんか?ぜひ一緒に。

■問い合わせ■ ☎52 - 1739

VOL.54

職員のつぶやき ~職員リレートーク~



▲左から河野さん、桑名さん

都市計画課の河野暉平です。私が担当している業務は、市営住宅に関することや定住促進や新婚家庭への助成金に関することです。まだ分からないことも多く先輩方に助けていただきながら業務に取り組んでいます。社会人1年目なのでまだまだ経験不足や知識不足だと感じるので様々なことに挑戦して、知識や経験を積み成長していきたいと思っています。

農林振興課の桑名和哉です。

私の担当業務は、道の駅常陸大宮・道の駅みわ・物産センターかざぐるまの施設管理運営業務と農産物ブランド化の推進として特産品認証事業を行っています。

採用された4月から気づけば半年以上経過し、普段の業務も落ち着いてこなせるようになりましたが、これからも入庁した時の新鮮な気持ちを忘れずにいきたいと思っています。

お詫びと訂正

広報常陸大宮11月号のひたまる先生問い合わせ先に誤りがありました。お詫びして訂正します。

■問い合わせ■ ☎53 - 1621

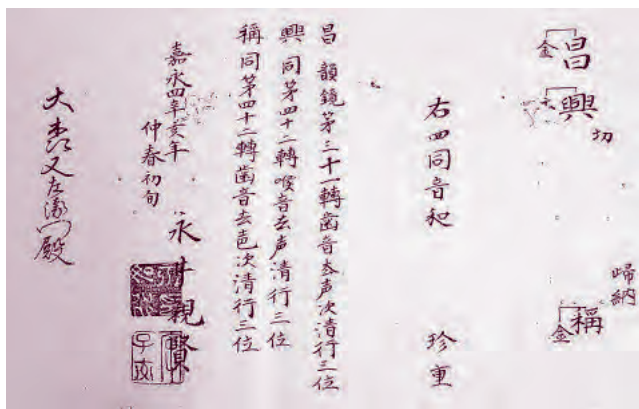
村人の印と実名

専門は近世史、江戸時代の村と人をテーマに研究をしています。

市史編さんで担当するテーマの一つは、村政やその担い手である村役人についてです。庄屋や組頭などの村役人は、村ではとても強い権力を持っているというイメージがあるかもしれませんが、そういった側面は間違いではありませんが、例えば領主への年貢収納では、村の代表者としての責任を果たす必要があり、一方で村人たちには、安定した生活ができるような指導や教育をする必要がありました。村の内外で頻発する争いを仲裁する立場でもあります。

また、日常的に多くの帳簿や証文を作成する事務があり、村役人は多忙を極めていたと考えられます。村政や村役人に関わる基礎史料として、領主の触れなどを村役人が書き留めた「御用留」がありますが、現在、近世史部会のメンバー全員で、上伊勢畑村の「御用留」の翻刻作業を進めているところです。

私は百姓が使用する印の研究を続けてきたため、印を使用する個人としての村人のあり方にも注目しています。村人たちが日常的に印を使用するようになったのは、江戸時代からです。そして江戸時代中期以降、印に彫る文字は、印を使用する本人の「実名」となっていく傾向にあるようです。実名はしかるべき知識人から授けられるようですが、市域では、嘉永4年(1851)に高部村の大森家4代又左衛門が、「昌興」の実名を授けられた時の史料があります。



▲嘉永4年「応求考之」(大森家文書790)部分



近世史部会専門調査員 千葉 真由美 氏
(茨城大学教育学部准教授)

また、姓名ということでは、水戸藩領の村々には、村人の苗字を申告させた「姓名帳」「姓名控帳」などの史料が残されています。公的には名乗ることがほとんどなかった百姓の苗字を、藩が調べたことも大変興味深いものです。百姓の家の由緒意識にもつながり、家と人のあり方にも着目できると考えます。

そして女性、子供、高齢者の問題も重要です。これらのテーマは過去のことではなく、現在の社会問題にもつながります。近世の人々が、社会の中で力強く生きていく姿、教科書にはあまり載ることのない側面も紹介できればと思っています。



■問い合わせ■

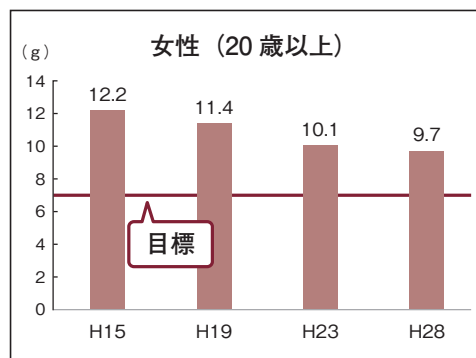
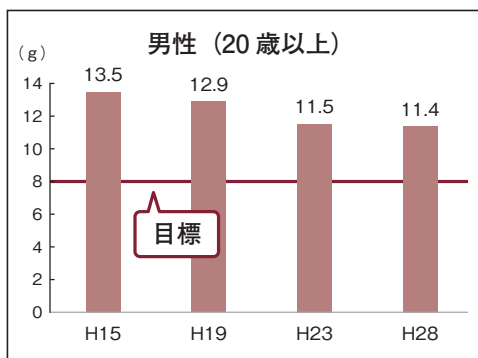
文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111 (内線344)

かがやきだより vol.11

今回のテーマは「塩分」です

県の調査では、県民の塩分摂取量は減少傾向にあるものの、目標量（男性8g未満、女性7g未満）を大幅に超えて塩分をとりすぎています。



塩分のとりすぎはなぜ体に良くないか

塩分のとりすぎ

→ 血液中の水分を増やすことで
ナトリウム濃度を維持しようとする

→ 血圧の上昇
(高血圧)



・心筋梗塞・脳卒中・腎臓への負担

← 高血圧が続くと
動脈硬化の原因となる

塩分は体にとって大切な働きをしていますが、その1日最少必要量は**1.3g**とされています

塩分をとりすぎないためのポイント

味噌汁は
野菜たっぷりに

めん類や
鍋物の汁は
残しましょう

練り物や
肉加工品
は控えめに

漬物や
佃煮は時々

ポン酢や
減塩調味料
の利用

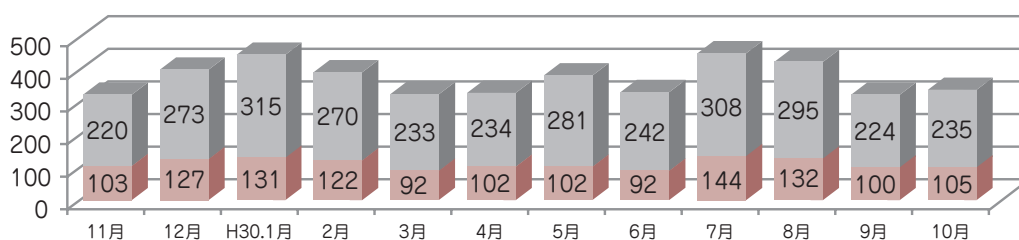
気になりませんか？あなたの家のお味噌汁

食改さんの「生活習慣病予防講習会」で、お味噌汁の塩分測定をしています。
皆様のご参加をお待ちしています！

※救急受け入れの人数を
月別に表しています。
(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院救急患者受入状況

■救急車以外
■救急車



見守り 新鮮情報

来訪した事業者に「家屋に壊れたところはないか。損害保険で負担なく修理が出来る」と言われたので、数年前の大雪でベランダの屋根がゆがんだことを話すと、調査員を手配すると言うので申込書にサインした。申込書をよく見たら

「保険金額が、**見積金額**より安くて工事が困難な場合は、**30%の手数料**を払う」と記載されていた。**手数料**の話は聞いていないし、不審なので申し込みをやめたい。(70歳代 女性)



「保険金の手続きをサポートする」と勧誘する住宅修理に注意

ひとこと助言



見守るくん

- 自然災害による住宅修理について「保険金を使える」と勧誘されても、損害保険金がいかに支払われるのか、また、そもそも保険金がかかるかどうか分かりません。まずは自身が加入している保険契約の内容を確認し、契約している保険会社や代理店に相談しましょう。
- 住宅修理とは別に、保険金を請求する手続きをサポートするという契約をさせられ、その手数料を請求される場合がありますが、保険金の手続きの手数料は損害保険の補償対象とはなりません。
- 「自己負担はない」と住宅修理の勧誘をされても、本当に負担なく必要な修理が出来るかどうか分かりません。その場ですぐに契約せず、修理の必要性や契約内容を十分に確認し、家族や周りの人にも相談しましょう。
- 不安に思ったときは、早めにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(消費者ホットライン 188)。

本文イラスト：黒崎 文

見守り新鮮情報 第322号 (2018年11月20日) 発行：独立行政法人国民生活センター

問い合わせ

茨城県消費生活センター

☎ 029 - 225 - 6445

常陸大宮市消費生活センター

☎ 0295 - 52 - 2185 (直通) (本庁商工観光課内)

※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

善意をありがとう

※順不同

<善意銀行へ>



常陸農業協同組合様
チャリティゴルフ大会収益金 81,772円

<奨学基金へ>



大宮地区民生委員児童委員協議会様
ふれあい広場バザー収益金 30,000円

ふるさと 見て歩き

第121回

み うら じん じゃ

三浦神社

【神社の概要】

三浦神社は小田野地域にある空智上人を祭神として祀る神社です。昔は祭礼が旧3月15日と旧7月15日の2回行われていましたが、現在は7月15日のみ行われています。空智上人は、源頼朝の家臣である三浦一族の一人、三浦大介義明であるとされています。伝説上では那須野（現栃木県那須町）にある殺生石に封じられた九尾の狐（玉藻の前という美女に化けていた）を討伐したとされ、吉田八幡神社の三浦杉はその討伐祈願に植えたものと伝えられています。かつては三浦神社の祭礼にこの伝説にちなんで、三浦大介と玉藻の前の山車が出されました。しかし、残念ながら現在では山車が祭礼に出ることはありません。



▲三浦神社 社殿

【かつて寺院があった三浦神社の地】

現在、三浦神社が建つ地には、もともと神社ではなく寺院が存在しました。中世期、前述の空智上人により建てられた浄土真宗の永福寺という寺院です。

江戸時代の『開基帳』を見てみると、宗派が浄土真宗から下檜沢太山寺末の真言宗に変わっていますが、永福寺は少なくとも寛永3年（1626）には存在していることが分かります。しかしその後、永福寺は住職が疫病で亡くなり、無住となってしまいました。そこで、寛文9年（1669）太山寺の住職が、水戸郊外にあった真言宗藤福寺の小田野への移動を、水戸藩神社奉行に願い出ました。その結果、永福寺は藤福寺となりました。

その後、廃寺となり、三浦神社が建てられた経緯は不明です。しかし、三浦神社境内にある石碑「三浦神社改築記念碑」によると、藤福寺が廃された跡地に、

三浦神社と呼ばれる空智上人坐像を祀る小さな祠が存在し、地元有志らによってその神社が改築され、昭和4年（1929）10月に三浦神社の遷座祭を執行したと刻まれています。



▲木造 空智上人坐像

【現在も残る寺院時代の遺物・痕跡】

三浦神社の社殿内部や境内には、現在も寺院時代の遺物や痕跡が見られます。神社の祭神である「空智上人坐像」、元禄8年（1695）に徳川光圀が修復し、その旨が背面に刻まれる「不動明王立像」、平安時代後期の作で、現存する市内最古の仏像である「如来立像」、この3体の仏像はその代表です。このうち空智上人坐像と不動明王立像は、市指定文化財となっています。これらの仏像の他、社殿内には江戸時代に近隣村の檀家らにより、3つの桐の櫃に納められ寄附された、「大般若経」600巻が存在します。櫃には「大般若経 清隆山藤福寺」、「安永二年癸巳孟冬良辰」（＝1773年）等の墨書があります。

社殿の左奥側には墓石が13基残っています。この墓石の年代は享保2～文化元年（1717～1804）といずれも江戸時代のもので、その内8基は「法印〇〇之墓」という形式で名前が刻まれています。「法印」は僧位を示すものであり、藤福寺住職の墓ではないかと推測されます。その他にも、社殿に向かって参道の右側に墓石、供養塔、石仏等の石造物が20数点ほど確認できます。

社殿内は普段公開されていないので仏像等を見ることはできませんが、境内にある墓や石造物に、この地が寺院であった痕跡を見ることができます。

〈参考文献〉

- ・『美和村史』（美和村史編さん委員会、1993）、
- ・『昔の生活と風俗 美和村の民俗調査資料』（美和村郷土文化研究会、1977）

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線344）



平成30年度常陸大宮市防災訓練を実施



11月10日、市文化センターで平成30年度常陸大宮市防災訓練を実施しました。台風による豪雨災害、そしてマグニチュード7.4の大地震が発生し市内で多数の被害が発生していることを想定し、近隣住民をはじめ、警察・自衛隊など様々な関係機関が参加した訓練となりました。



▲地震がおさまるまでその場で待機します



▲浸水等の災害を未然に防ぐため消防団による水防訓練も行われました



▲現場指揮本部を立ち上げ、事態の早期終息を目指します



▲大ホールでは茨城県防災士会による防災講話が行われました



消防フェア2018を開催



11月11日、市消防本部で「消防フェア2018」を開催し、約600人が来場しにぎわいました。本市在住で常陸大宮大使の渡辺ヘルムート直道さんを1日署長としてお迎えし、若草幼年消防クラブによるマーチングバンド、常陸大宮ピサー口での防火点検、乗車体験や各種訓練体験、そして展示訓練など様々なブースが設けられました。



▲屋内の体験ブース



▲屋外の体験ブース

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54 - 0119



わが町の消防団ポスターコンクール表彰式



小学3、4年生を対象にした、わが町の消防団ポスターコンクールの表彰式が、消防フェア2018で行われ、最優秀賞（1人）と優秀賞（10人）が選ばれました。

※最優秀賞※



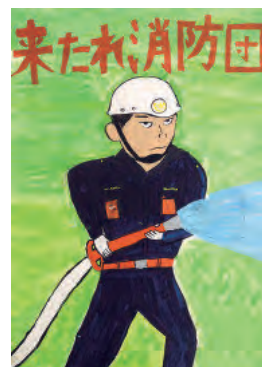
▲三村 晃大さん（山方小4年）

※優秀賞※

（順不同）



▲綿引 心悠さん（上野小3年）



▲星野 宙斗さん（大賀小4年）

※優秀賞※



▲小野瀬 由莉さん（山方南小3年）



▲木村 優月さん（山方小4年）



▲坏 瑛太さん（山方南小3年）



▲石本 くるみさん（山方南小4年）



▲大峠 冴さん（緒川小3年）



▲和田 翔平さん（大宮小3年）



▲立原 叶善さん（大宮小3年）



▲佐藤 真央さん（緒川小3年）



▲受賞された皆さん

進めよう！多文化共生社会



氏 名 山田 ヒュンティ
マイリン
住 所 南町
出身国 ベトナム
家族構成 夫、長男、二男
市内在住歴 20年
仕 事 縫製業
趣味・特技 料理
好きな食べ物 寿司・煮魚

料理が好きで、テレビの料理番組を見て作り方を学び、和食のレパートリーを増やしています。ドライブに行って山並みを眺めたり、途中で立ち寄る道の駅で野菜を買ったりすることも好きです。

仕事は、縫製業を長く続けています。職場には、母国から技能実習生として後輩が多く入ってきます。その後輩たちへの仕事の指導のほか、日常生活でのアドバイスをを行うこともあり、やりがいを感じています。

現在、長男はバスケットボール、二男はサッカーに取り組んでいるので、その送り迎えをしています。見知らぬ土地を運転することもあり、不安もありますが、お友達のママに助けられています。

私は、子ども達に日本の伝統文化などは教えられませんが、そういうものを大事にしてもらいたいと思っています。また、いつも「真面目と素直さ」が大切であることを話しています。人として真面目に素直に生きることが自分のためになり、きちんとした人生を生きていけると信じているからです。私もストレスがたまって、子ども達を怒ってしまった時は、素直に謝るよう心掛けています。

ひたまるがゆく

11月11日に栃木県那珂川町にある小川総合福祉センターで開催された「なかがわ元気フェスタ2018」へ登場したひたまる。本市と那珂川町は原子力災害などによる避難先として協定を結んでいます。ステージイベントでは、常陸大宮観光大使による市内のイベント情報のPRやマスコットキャラクターによるじゃんけん大会が行われました。じゃんけん大会やフォトセッションを通して、那珂川町の皆さんや那珂川町のマスコットキャラクターなかちゃんと交流を深めることができたひたまるでした。



▲楽しかったよ！

御前山ピオトープ周辺の植物等

東北地方南部から琉球列島に分布し、木の幹や岩の上に着生する常緑性のシダ植物です。細い茎は枝分かれして広がります。葉は茎からたくさん出て、肉厚で濃い緑色をしています。葉には円形から楕円形をした葉と、胞子をつけるへら形をした葉の二形があります。名前は葉が小さく、円いことに由来しています。



(ウラボシ科マメツタ属)

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会

2019年9月29日(日)～

10月1日(火)

西部総合公園体育館



常陸大宮市の人口

(12月1日現在・推定常住人口)

総人口 40,644人 世帯数 16,100世帯
(男 20,047人 女 20,597人)

広報 常陸大宮 12月 第171号

発行日 平成30年12月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



再生紙と植物油インクを使用しています。